

2024年度 北見藤高等学校シラバス

〔教科〕 〔科目〕	〔家庭科〕〔生活デザイン〕	2年	2単位	教科書	生活デザイン 実教出版	副教材等	-	履修対象・ 使用教室等	2学年アクティブ
教科・ 科目の 目標	人の一生と家族・家庭及び福祉、消費生活、衣食住などに関する知識と技術を体験的に習得させ、家庭や地域の生活課題を主体的に解決するとともに、生活の充実向上を図る能力と実践的な態度を育てる。								
評価 の 観点	知識・技能	思考・判断・表現			主体的に学習に取り組む態度				
	各ライフステージの課題を達成しながら、生活の営みに必要な知識の定着がなされている。人の一生という時間の経過の中で、金銭、生活時間、人間関係などの生活資源や、衣食住、保育、消費などの生活活動が相互に関連されているものと理解している。	人間の生涯にわたる発達と生活の営みを総合的にとらえ、家族・家庭の意義、家族・家庭と社会のかかわりについて理解している。生活に必要な知識と技術を実践的に習得している。			男女が協力して主体的に家庭や地域の生活を創造する能力と実践的な態度が育成されている。自分の考え方に根拠があり、自分の言葉で説明することができる。授業プリントの整理整頓をし、丁寧に自己管理がなされている。				
評価 方法	* 単元などの授業内容のまとまりごとに「評価の観点」に基づいた観点別評価を行い、〔A:「十分満足できる」状況 B:「概ね満足できる」状況 C:「努力を要する」状況〕とする。 * 単元などの観点別評価に基づいて、学習全体の総括的な評価を行ったものを「5段階の評定」とする。								
評価 資料 ・ 評価 比重 (100点換算)	評価資料等	予定回数・内容等			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度		
	単元テスト	4回・各単元50点満点			100	-	-		
	レポート作成	5回ほど・iPadを使用			-	45	20		
	ファイル点検	2回・前期末と後期末にファイルを回収			-	-	50		
	調理実習	2回・ハンバーグ定食とクリスマスケーキ（予定）			-	10	5		
	被服実習	2回・ミンと手縫い			-	30	10		
	体験授業	4回・体験後ロイノートにて提出			-	15	15		
		〔観点別配分％〕			（3観点の比重を％で示しています）				
月進行 〔計画〕	【単元名】 学習項目名	記 当 時 間 〔計画〕	学習内容・目標（到達点） など			主な評価資料		評価の重み付け(◎○)	
4 5	第2編 生活をつくる 第5章 住生活をつくる	15	健康で安全な住生活を営むための住居の機能、住居やインテリアの計画に関する知識と技術を習得させるとともに、生涯を見通して環境に配慮した住生活を主体的に営むことができるようにする。			世界のお家 ハザードマップ 避難袋づくり 単元テスト		◎	◎
6 7 8 9	第2編 生活をつくる 第1章 食生活をつくる	20	食事と健康との関わりや栄養、食品、調理、食べ物の美味しさなどの食生活に関する知識と技術を習得させ、食文化に関心を持たせるとともに、生涯を通して安心と環境に配慮した食生活を主体的に営むことができるようにする。			お箸のマナー フードアディズム ファイル点検 単元テスト 調理実習		◎	◎
10 11 12	第1編 人と関わって生きる 第2章 子どもとかわる	15	子どもの発達と生活、子どもの福祉などについて理解させ、親の役割と保育の重要性や地域及び社会の果たす役割について認識させるとともに、子どもを生み育てることの意義や子どもと関わることの重要性について考えさせる。			新生児人形 離乳食体験 新しい命の誕生 児童憲章 単元テスト		◎	◎
1 2 3	第2編 生活をつくる 第3章 衣生活をつくる	20	衣服の着装、製作、管理などの衣生活に関する知識と技術を習得させ、衣文化に関心を持たせるとともに、生涯を通して快適で創造的な衣生活を主体的に営むことができるようにする。 布で体を包む被服の構成を理解させるとともに、被服を製作するための基礎的・基本的な縫製技術を習得させる。			民族衣装 三原組織 ファイル点検 単元テスト 刺し子布巾		◎	◎
学習の アドバイス	○単元テストでは50点満点中40点を目指すこと。 ○レポートは用紙の8割以上埋めること。内容をきちんと理解し、丁寧に完成させること。 ○授業内で配布されるプリントは全て記入し、フラットファイルに綴じましょう。無くさずに保管しておくこと。 ○休んでしまった時にも課題を提出してもらっているかもしれません。同級生や教科担任に確認すること。								